

8.4 開放型病床利用率

■解説

開放型病床とは、かかりつけ医（開放型病床登録医）と当院の医師とが共同して、通院から入院、退院までの一貫した診療を行い、継続的に高度の医療、検査、手術などを受けていただくための専用の病床です。
小松市民病院には、平成元年から30床設置されています。

算式	【開放型病床利用率】(分子／分母) × 100 分子: 在院患者延数 分母: 30床 × 当月の日数
単位	人
期間	年間

	開放型病床利用率
令和4年度	23.6%
令和5年度	23.4%
令和6年度	29.8%

